若宮大路を盛大にパレード
にぎわった52回鎌倉まつり

国史跡の若宮大路を武者行列や民踊、みこし、祭りばやし車などが行く。鎌倉市観光協会主催の第52回鎌倉まつりのパレードは4月11日行われた＝写真上。

総勢34団体、2千5百人が鎌倉体育館から鶴岡八幡宮間1・25キロメートルをパレードした。県警音楽隊を先頭にミス鎌倉らがオープンカーに分乗。ガールスカウトやボーイスカウト、武者姿のどんぼの会、まとい万灯保存会の子ら。そろいの着物の民踊協会の手踊り。鳶職組合が木遣り歌、はしご乗りなどを披露した。

初夏を思わす陽気で、サクラの花吹雪が舞う段葛や沿道を市民や観光客らが埋め、約20万人の人出。

パレードの一行が着いた鶴岡八幡宮舞殿では新しく選ばれたミス鎌倉のお披露目や「静の舞」なども。

舞の奉納は若手の香妻聖香さんで、今回がはじめての大役＝写真下。母親の君香さんも過去4回この舞台に立ち、親子二代の大役を果たした。優雅でいて堂々としていた。聖香さんの舞に、観客たちはうっとりと見とれ「きれいね」という声がもれていた。

浄水で心身を清める水盤舎
大仏殿に新たに完成

高徳院鎌倉大仏殿（佐藤孝雄住職）に3月下旬、水盤舎が完成した＝写真。

入り口をくぐるとすぐのところで、参拝者はお参りの前、水盤の浄水で手を洗い、口をすすぎ、心身を清める。老朽化にともない、この春、新築した。ヨコ約2・32メートル、タテ約1・5メートルで屋根の一番上までの高さは約3・5メートル。以前より柱をひとまわり太くし、屋根の高さと幅も広くなった。

柱のケヤキの調達や棟飾りの制作など準備期間に2カ月ほどかかったが、現場工事は3月10日から27日で完成した。

施工は地元鎌倉で50余年、寺社、住宅からビルなどの建築を手がけている清興建設が請け負った。山形から宮大工を呼び寄せ、板金工ら数人が作業にあたった。工事期間中も参拝者が水盤舎を利用できるように、夜間に作業が行われた。作業中の騒音や、作業場の安全確認にも気を配ったという。

そばのサクラがときどき花びらを散らし、外国人観光客や子どもに手水の使い方を説明しながら、利用する人などが絶えなかった。

佐藤住職は「古色をおびて趣きのあった以前のものが、真新しくなった。これも次第に皆様になじんでいただけると思う」と話していた。

ひと
「かまくらジュニアストリングス」代表
河合（かわい） 訓子（くにこ）さん

「鎌倉の子どもたちに弦楽器を演奏する楽しさを伝え、将来、世界で通用するジュニアの弦楽器アンサンブル（合奏団）に育てていきたい」

夢を語り始めた瞬間、目に輝きが増し、言葉にも力がこもった。鎌倉の材木座育ち。現在も実家がある。友人もいる。

「史跡と普通の民家が同居し、緑の多い鎌倉の全部が好き。外国の合奏団には土地の名前が付く。鎌倉の名前が付いた合奏団をつくりたかった」

かまくらジュニアストリングスは、小、中学生を対象としたバイオリン、ビオラ、チェロなどの弦楽器の教室である。講師陣は河合さんを含めたバイオリン奏者を中心に6人。昨年5月に産声を上げたばかり。現在の生徒は22人。小学2年から中学3年を対象に新規メンバーを20人ほど募集中。初心者と、1年以上の経験者のコースに分かれている。練習会場は御成小多目的室、ときらら鎌倉、深沢学習センター。

弦楽器との出会いは5歳か6歳のころ。母親の勧めで、鎌倉市内のバイオリン教室に通い始めた。中学までは、バイオリン一筋。

本職のビオラへの転向は大学時代だったが、最初に触れたのは高校時代。「入学時、実技担当の教師に友人4人で弦楽器のカルテットを結成できないかと言われたのがきっかけ」

カルテットの構成はバイオリン2人、チェロ1人、ビオラ1人。高音のバイオリンがリード役となり、低音をチェロが支える。ビオラは両者の中間に位置する〝調整役〟。

それに上手になるのが苦手な性格なので、すんなりビオラに転向できた」

3月に鎌倉芸術館で最初の演奏会を鎌倉ジュニアオーケストラと一緒に開催した。4月29日が第1回定期演奏会。

「人前で演奏するので緊張し、間違うかもしれないとの不安があったかも。しかし、終わった後の充実感は学校の授業では味わえなかったはず。子どもの才能は、必ず開花する。彼等の成長した姿を見てみたかった」

生徒募集の問い合わせは河田田紀子さん☎0467・32・5562

ビオラ奏者。桐朋学園大卒。東京芸大大学院修了。カリス弦楽四重奏団、東京交響楽団と東京アカデミカー・アンサンブルの首席奏者を歴任。現在、鎌倉音楽クラブ会員、東京音大講師。（M）

薄墨桜を覚園寺に植樹
かまくら桜の会が苗木5本

かまくら桜の会（高柳英麿会長）は4月16日午後、鎌倉市二階堂の覚園寺山門手前の大築寺跡地に薄墨桜の5年生の苗木5本を植樹した＝写真。

この薄墨桜は千5百年の歴史があり、国の天然記念物に指定されている岐阜・根尾谷の桜の種から育てた二世。高さ1・5メートルほどに育っている。

桜の会の高柳会長が岐阜の現地に赴き、地元の老人会が種から育てた二世の苗木を分けてもらった。

植樹したのは覚園寺の山門から少し離れた大築寺跡の草原になっている広場。これまでにも山桜の苗木2百本を植えている。

この日は高柳会長ら会員約20人が出て薄墨桜の苗木を1本ずつていねいに植えた。見ごろになるには数十年かかるが、幼木でも花を付けるため、来年から薄墨桜が楽しめそうだ。

大蛇桜の見学や演奏会
北鎌倉の匠の市、盛況

「もの・ひと・出会い・ふれあい」をテーマにした北鎌倉匠（たくみ）の市（主催・北鎌倉まちづくり協議会）が4月3・4日の両日、円覚寺、東慶寺、浄智寺の各参道で開催された＝写真。

出店数は例年とほぼ同じ35店。手作り品が並んだ会場は大勢の観光客や地元の人たちで賑わった。今年で10周年を迎えた匠の市は、すっかり北鎌倉の春の風物詩に定着した感がある。

市と同時開催で年々人気が高まっている「北鎌倉ウォッチング探訪！幻の大蛇（おろち）ザクラ」は、大蛇桜の見学や演奏会が行われ、県内はもとより県外から約1千人が訪れた。

鎌倉の歴史案内人の養成
ガイド協会の8期生35人

鎌倉ガイド協会の8期生ガイド養成講座の開講式が4月7日、鎌倉生涯学習センターで行われた＝写真。

同協会は鎌倉シルバーボランティアガイド協会を前身として、91年に設立。「鎌倉の歴史案内人」として定例の史跡めぐりや個別ガイドを行っている。

2、3年ごとに新会員の募集を行っていて、今回、08年にNPO法人になって初めての募集。前回までの鎌倉在住という地域限定と、55～65歳までの年齢制限をはずした。

市内はもとめ、横浜、藤沢など県全域と東京から109人の応募があり、作文の書類選考で男性24、女性11人の35人が決まった。受講者は39～69歳、平均年齢61歳と若返りを見せた。

12月まで週1回、大学教授や博物館の学芸員、僧侶などの外部講師と協会員が講義と実地研修を行い、歴史や仏教、社寺について学ぶ。来年1月から3カ月の見習い期間を経て、4月から60人近くが参加した。参加者は満開の大蛇ザクラの巨大な幹に「まるで神話に登場するヤマタノオロチのよう」と感嘆の声をあげていた。

「お寺 de コンサート」も「禅寺で演奏したい」というアーチストが増加し、聴衆も着実に増えている。午前と午後の2回行われた浄智寺書院の「木の響き」コンサートに約90人、東慶寺本堂での「お釈迦様の誕生日を祝う祈り・響き」には50人近く集まった。（M）

開講式で同会の斉藤顕一会長は「充実を増した講座で力をつけて、いっしょにガイドの醍醐味を味わってほしい」と激励した。

鎌倉市観光課の鶴見俊之課長、市観光協会の遠藤一彦専務理事も来賓の挨拶した。鎌倉国宝館の鈴木良明館長の講演もあった。

受講者たちは緊張した面持ちで、これからの学習内容に希望を膨らませながら参加していた。

古民家ギャラリーで作品展を開きませんか
出版社に併設した古民家ギャラリー・サロン。表現する人たちの文化発信拠点として利用ください。お問い合わせは、右記線の鈴社まで。
GINNOSUZU GALLERY & SALON
アート＆ブックス 鈴の鈴社
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下3-8-33
TEL 0467-61-1930 FAX 0467-61-1931
http://www.ginsuzu.com
info@ginsuzu.com
水曜定休

お手伝いサービス
手軽なお掃除 ●女性一人で伺います ●お宅のお道具を使用させていただきます
定期料金（月2回以上）
3時間…6,900円
（税込み 7,245円）
(有)アイ・ハウスクリーン
TEL 0467-24-4400
0120-24-0409
鎌倉市大町2-5-26
http://www.iclean.co.jp

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)

心にのこる演奏会…
写真とともに
いつまでも
大切にしておきたい。
お手伝いします——
Print LAND
印刷 デザイン
プリントランド
TEL.045-716-0752 FAX.045-716-4484
E-mail:printland@s3.dion.ne.jp
鎌倉街道、横浜南区役所通り